

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 110

1993年

1～2月号

謹賀新年

平成5年元旦

明けましておめでとうございます。

今年はトリ年です、鷹の初夢が見られたでしょうか？ 昨年は我孫子野鳥を守る会にとって記念すべき年でした、6月に我孫子野鳥を守る会の創立20周年と高橋顧問の叙勲のお祝いをする会が、来賓に大井市長、山階鳥類研究所々長黒田博士、鳥の博物館の水村副館長をお招きして盛大に行われました。

会の創立と20年の長い間会員を指導して下さった方々の努力に改めて感謝申し上げます。

その外沼南町役場主催の探鳥会のお手伝い我孫子市、鳥研、当会共催のバードウィーク手賀沼探鳥会、我孫子野鳥を守る会20周年記念市民探鳥会を行なう等、市民参加の催しも多く、それぞれ幹事の方々の指導や会員の御協力で好評をいただく事が出来ました。

一方手賀沼浄化に向けている
いろいろなシンポジウムやアピールがあり、環境保護の運動が盛んになって来ました。当会も多くの人々に鳥を見る楽しみを紹介しながら鳥の住める自然環境が人間にとっても大切であることを訴えていきたいと思ひます。

新しい年が会員の皆様にとって健康で、鳥運の良い年であることをお祈り致します。

会長 木村 稔



☐ 行 事 案 内

手賀沼探鳥会とカウント

期 日 1月10日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 カモ類の羽数の最も多い時期です。
オカヨシガモ、ヨシガモ、ミコアイ
サ等の羽色や行動を観察しましょう。
正午頃解散予定
担 当 畑、木村、飯泉、小池、西城

関東のヒシクイに出会う会

期 日 1月15日(金) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 関東地方に唯一ヒシクイが飛翔する
茨城県江戸崎を訪ねます。
自家用車分乗につき、車を出せる方
参加者共に下記へ連絡を。
分乗者は1,000円を負担
持ち物 弁当、水筒、防寒具
担 当 飯泉(0471-43-7403)

裏 妙 義 探 鳥 会

期 日 93年2月6日(土)~7日(日)
集 合 我孫子中央公民館 午前8時
(手賀沼公園の東隣です)
案 内 奇勝奇岩をバックに飛翔するイヌワ
シの姿を期待して裏妙義を訪ねます。
妙義湖ではオンドリの群れ、林では
小鳥に出合えるでしょう。
宿 泊 国民宿舎 裏妙義
(02739-5-2631)
交 通 今井観光のマイクロバス
費 用 1人16,000円程度
(集合時この額で一旦徴収いたします。)
持ち物 6日の昼食、7日の昼食代、観察用
具、防寒具、雨具、洗面道具等。

申 込 1月5日より受付、先着20名
飯泉(0471-43-7403)
担 当 飯泉 仁・久美子

手賀沼探鳥会とカウント

期 日 2月14日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 カモ達は渡りの準備に余念がありま
せん。綺麗な羽色の姿に出会うラス
トチャンス。
正午頃解散予定
担 当 西城、小池、飯泉、木村、畑、染谷

春のカモメと出会う会

期 日 3月7日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前8時
案 内 自家用車分乗で銚子を訪ねます。カ
モメ類を比較しながら観察してみま
しょう。
持ち物 弁当、水筒、観察用具
参加費 車同乗者は、2,000円を負担
申 込 車を出せる方、参加者共下記へ。
飯泉(0471-43-7403)
担 当 飯泉 仁・久美子

◎ 行 事 報 告

○伊良湖岬探鳥会に参加して

(10月2~4日)

渡辺 千鶴子

6月に沼南手賀丘公園で間近に見たサシバの姿は、猛禽類という言い方は情情的にはどうも好きではないのだが、やはり愛らしい小鳥とはちがって眼光鋭く、威風堂々とした趣で心がひかれる。願わくは自然界の掟で致し方ないとしても、やはり他の小鳥を襲っている姿にだけは出くわしたくないと思うが、と

もかく鷺鷹などの孤高の姿と、飛翔する様はなんといっても王者の感があって見応えがある。

前々から泊り掛けの探鳥会には興味があっても、中々参加する機会がなかったのであるが、伊奈湖岬ではサシバの渡が見られるとのことなので期待して参加した。もしかしたら、不可能に近いことなのはわかってはいても、あの沼南のサシバの渡っていく所を見送ってやれたらと、夢のような思いを抱いての伊奈湖ゆきであったが、今年は何年にもなく渡の少ない年とのことであった。幸いに雨にはぶつからなくて済んだのだが、壮大な渡のドラマは繰り広げられなく、鳴かず、飛ばずではやはり落胆はかくせない。運が悪いと諦めて来年に期待するか、または「花は盛りに、月は隈なきものをみるものかは」の心情で鳥を見に行き、見られないというのも何とも趣のあることとおかしみを感じれば大したものなのだが、行ったからには厭というほど鳥を見てみたかったというのが正直なところだろう。期待していた星空も日の出も見られなく、思惑が全部はずれるというのも、普段の行いのせいであろうかと反省もしてみたくなる。それとも、芭蕉もかなり「奥の細道」では虚構を使ったというから、偶然にもあのサシバを見送ることが出来たと日記には書いておこうか等、様々の思いが去来する。最初から良すぎると次回は落胆も大きいことだろうからこれでちょうどいいと慰めてもみる。

汐川の干潟での探鳥もやはりはずれとのことなのだが、ただこうして遠くから沢山の人が鳥を見るために集まってくるというのも、私にとっては新発見で珍しい光景である。バードウォッチングならぬマンウォッチングか、それとも鳥を観察しているつもりが、逆に鳥に観察されているのではなからうか。東海道をやめて木曾街道をとったのかも知れない。

そうはいっても、ヒヨドリの子をなして飛んでいく様とそれに続く一斉に海に急降下

するさまは壮観で、来たかいはあったと思う。また、イソヒヨドリの灯台の風見鶏のところに止まっている様は実に愛くるしく、止まる場所を選んでポーズをとっていると思えないような光景で、海の青と白い波飛沫の中で一層映えていた。鳥をみていつも思うのであるが、自然界、生物界というのは何と不思議で素晴らしいのだろう。人間には真似をしようにも、努力してせいぜい空を飛ぶには飛行機を使うくらいが関の山、方向を知る能力すらも持ち合わせていない。道具が発達したのはそのせいだとは思いますが。

今回の探鳥旅行はなんだかんだ言っても楽しいものであった。いろいろ皆さんに良くして頂き、特に幹事さんの木村さんご夫妻は、さぞかしお疲れになられたことと思われ感謝の念に耐えない。鳥の名前をほとんど知らない自称バードウォッチャーでは、様にならないし、恥ずかしいのだが、次回も機会があったら、是非参加を希望したいと思っている。

鳥だけでなく、他の珍しい植物の名前等を教えて頂くのが楽しみです。

<認めた鳥> カイツブリ、オオミズナギドリ、カワウ、ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、アオサギ、コサギ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、スズガモ、ハチクマ、トビ、オオタカ、ツミ、ハイタカノスリ、サシバ、チュウヒ、ハヤブサ、チゴハヤブサ、コジュケイ、キジ、バン、ケリ、イソシギ、クサシギ、オオセグロカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、ユリカモメ、キジバト、アオバト、アマツバメ、コゲラ、ヒバリショウドウツバメ、ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、モズ、ノビタキ、イソヒヨドリ、センダイムシクイ、ヤマガラ、セツカ、シジュウカラ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、コムクドリ、ムクドリ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス

(計61種)

<参加者>

坂巻忠雄、西巻 実、安本昌彦、梅村康之、
小野勝義、大野真澄、中尾米子、戸谷輝夫・
満知子、小玉文夫、赤尾 完、田丸喜昭・メ
リールイス、高橋敏夫、西城猛、小島厚彦、
渡辺千鶴子、堀 泰雄・加津子、望月和男、
笹川昭雄（鳥研）、木村 稔・正子
（計23名）

○谷津干潟探鳥記

（10月18日）

赤尾 完

6年ぶりの谷津干潟はすっかり変わって
いました。

国や県がつくる公園とは、こういうふうな
ものになるのかと思いました。

周囲には金物の柵が張り巡らされました。
こぎれいな植え込みが作られて、ブロックが
敷きつめられ、腰をおろして鳥を見おろせる
段々もできました。勿論屋根もつきました。
いたれりつくせりの野鳥公園となったのは、
周囲が高層マンションがたちならぶ住宅地
になってしまったという立地条件では、やむを
えないことではありますが、残された干潟と
いうより、都会の中の児童遊園地のように
なってしまって、まことに味気ない思いです。

ただひとつ、嬉しいのは、東側に目隠しが
できて、覗き窓から鳥をまぢかに見ることが
できるようになったことです。

人の姿が見えないと、鳥はこんなにも安心
するのかなと思うくらい、くつろいだ鳥たちの
姿が見られました。

当口は、小潮とかで周辺部だけが干潟とな
ったせいもあって、セイタカシギや、ダイシ
ャクシギをまぢかに見ることができました。
また、逆光線で見えるハマシギの大群もなか
なかの見ものでした。

現地に着いた時の印象が不遜なわがまま

だったかなと、反省させられるほど、鳥がよ
く見られました。谷津干潟はいい所です。

<認めた鳥>

カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カル
ガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハ
シビロガモ、コチドリ、シロチドリ、メダイ
チドリ、ダイセン、ハマシギ、オオソリハシ
シギ、ダイシャクシギ、セイタカシギ、ユリ
カモメ、セグロカモメ、ウミネコ、キジバト、
ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、カワラヒワ、
スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブ
トガラス（計29種）

<参加者>

村井治・登代、下山田義美・一子・清美、中
尾米子、首藤佑吉・美恵子、樫村大助・幸子、
赤尾完・弥生、梅村康之、染谷勉夫、木村稔、
飯泉仁・久美子（計17名）

○手賀沼カウント

調査日時 1992.11.3 (晴) 12:00~15:00			
<カウント班> 飯泉 仁・久美子			
鳥 種	上 沼	下 沼	計
カイツブリ	9	32	41
カンムリカイツブリ	1	0	1
カワウ	19	13	32
ゴイサギ	0	22	22
ダイサギ	5	5	10
コサギ	21	15	36
アオサギ	21	16	37
マガモ	0	424	424
カルガモ	177	220	397
コガモ	134	45	179
オカヨシガモ	19	4	23

ヒドリガモ	2	16	18
オナガガモ	28	15	43
シマアジ	0	1	1
ハシビロガモ	16	63	79
ホシハジロ	5	9	14
キンクロハジロ	2	0	2
スズガモ	1	8	9
コブハクチョウ	0	1	1
バン	1	0	1
オオバン	52	22	74
シロチドリ	3	0	3
ハマシギ	2	0	2
ユリカモメ	19	49	68
計 23種	537	980	1517

※ 11月8日が冬のカモ観察会として会員外の方々も参加出来る探鳥会を催した為に、カウントは3日となりました。

この日には上沼方面にてチュウヒ、ハヤブサ、チョウゲンボウ等が見られました。

○11月行事開催でのお礼

行事担当幹事

11月8日は、一般の皆さんを手賀沼に招いてのカモの観察会を開催いたしました。

多数の会員のご協力をいただき、無事開催できたことを厚くお礼申し上げます。

市役所に集合し、手賀沼の下沼遊歩道を約2km位歩き、カモをはじめとする野鳥達と出会いました。

今回は、一般市民の方々の中に中学生のメンバーが参加してくれたことが一番の収穫でした。

野鳥との出会いを通じて、将来の手賀沼と周辺的环境について少しでも関心を持ってくれたら、幸いです。

是非、次の機会でもお目にかかることを楽しみにしています。

○市民探鳥会を企画して

(11月8日)

飯泉久美子

今回の探鳥会は、一般市民に特に多く参加して頂く為の特別探鳥会でした。前日からパンフレットやリボンを作ったり、受け付の机や椅子を車に積んだりと準備を数十分間がかた付け、後は天気を気にするだけでした。

当日は、朝のうち曇ってはいましたが、だんだんと良い天気になりました。受け付を始めると中学生の女子や男子のグループや、我孫子市の公報を見て来られた方々など、全人数60名以上にもなり、大変盛会でした。しかし、沼にはカモの姿があまりなく、さみしい探鳥会でしたが、アシ原に潜んでいたコガモやカルガモを見て、皆楽しそうでした。

昼頃解散しましたが、いつものこの時期でしたらもっとたくさんカモがいるのに、この日はあいにく風が強く吹いていた為に、すこし残念な気がしました。

一般の方々は、この様な機会を待っていることがこの探鳥会を通してよく分かりました。

<認めた鳥>

カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ハシビロガモ、コジュケイ、クイナ、バン、オオバン、ユリカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、ツグミ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス (計33種)

番外ドバト、バリケン、アイガモ

<参加者>

小池忠、畑幸正、川端英雄、大野真澄、浜田田鶴、牧野陽子、木村稔、西巻実、小野勝義、大川昭二、斉木達郎、戸田健太郎、赤尾完、

折原淳二・好子、梅村康之、染谷廸夫、中弘、柳場栄一、大野歩実、松田健吾・圭子、津川信夫・田鶴子、佐藤香奈子、酒井恵、小松原未紀、松田紗知、折部礼恵、木村仁美、市川正次、池田弘志、藤田嘉代子、成毛理恵、成毛有加里、近藤尚志、福岡育子、大内理恵、高山豊、山口達夫、山崎寅二・尚子、石井豊、鈴木加根子、高畑みよ子、三木和恵、黒田恵津、山田敦子・美和子、小松誠助・雄、佐藤大朗、松本庸夫、若狭英彦・智京、飯泉仁・久美子、坂巻忠雄、立川節子、木原葉子、柴田五郎、小玉文夫・信子（計64名）

“ 鳥 だ よ り ”

- 1 0. 7 (あけぼの山公園) コサメビタキ 1
 2 3 (久寺家) チョウゲンボウ 1
 ノスリ 1
 1 1. 2 (手賀沼下) トビ 1 以上西巻実
 3 (手賀沼上) カンムリカイツブリ 1
 スズガモ 1 チュウヒ 1 ハヤ
 ブサ 1 チョウゲンボウ 1
 ハマシギ 2 シロチドリ 3
 カワセミ 1
 (手賀沼下) シマアジ 1 スズガ
 モ 8 ツグミ 1 タヒバリ 1
 飯泉 仁・久美子
 1 1. 9 (土谷津) シメ 3 ツグミ 6
 1 1 (土谷津) カケス 1
 (あけぼの山公園) ビンズイ 1
 アオジ 1 シラコバト 5 +
 1 4 (利根川、弁天下) カワウ 3 0 0 +
 1 8 (北新田) カワウ 4 0 0 土

- チュウヒ 1
 1 9 (土谷津) ハイタカ ♀ 1
 2 1 (布施新町) チョウゲンボウ 1
 2 3 (布施弁天) 白色化したセグロセキ
 レイ 1
 2 4 (あけぼの山公園) カワラヒワ 59
 2 6 (手賀の丘公園) キクイタダキ 1
 エナガ 4 +
 2 7 (手賀沼下) スズガモ ♂ 1 ♀ 1
 ハジロカイツブリ 5 +
 3 0 (手賀の丘公園) マヒワ 5
 オオタカ 1
 1 2. 1 (富勢) アカハラ 1
 2 (あけぼの山公園) カシラダカ 5 +
 以上 西巻 実
 1 2. 3 (日の出) タゲリ 12 +
 首藤恵美子

◆ ご 寄 附

米 3袋 山野辺伸作様
 バン多数 渡辺 勝利様
 金 三万円 中尾 米子様
 金 三千元 笠原最季雄様
 切手 一千二百四十円分
 吉尾 正彦様

後記 庭の餌台にやって来る鳥達の声を気にしながらの編集です。シジウカラは毎年3羽で来るのに今年は1と2羽に分かれました。今まで三角関係だったのでしょうか？M

我孫子野鳥を守る会会報 第110号

発行人 木村 稔 TEL(0471) 82-7958
 住所 我孫子市寿1-21-35
 振替 東京4-51628 我孫子市久寺家2-5-20 西巻方
 我孫子野鳥を守る会 木村 稔
 会費 年額2,000円(高校・大学生1,000円、中学生以下500円)

